

岐阜市立常磐小学校で防災講座を行いました

令和6年8月29日（木）、岐阜市立常磐小学校で6年生52名に防災講座を行いました。学校の近くには鳥羽川や伊自良川が流れています。学校の前には昭和51年9.12豪雨災害の浸水位標示板があり、当時浸水したことが確認できます。

講座では、伊勢湾台風や学校が浸水した9.12豪雨災害などについて学習し、映像で浸水を疑似体験しました。真剣な表情で視聴していた児童たちは、「皆さんはどのような避難行動をとりますか？」という質問に、多くが高層マンションへ避難すると回答し、高い所へ避難する意識が高いことがわかりました。また、避難の際にはエレベーターではなく階段を使ってくださいと伝えたところ、頷きながら聞いている様子も伺えました。

講座の最後に代表の児童から、「中部でも昔被害があったので、油断せずにこれから備えていきたい。」「水害が来てからでは遅いので、日頃からハザードマップで家の周りを確認したい。」などの感想を頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は名古屋テレビに取材頂きました。

